



こんにちは とみさと議会です

平成 25 年

9月定例会

第 180 号

発行 / 富里市議会
発行責任者 / 富里市議会議長
編集 / とみさと議会報編集特別委員会
発行日 / 平成 25 年 11 月 1 日
住所 / 〒 286-0292 富里市七栄 652-1
TEL 0476-93-6492 FAX 0476-91-3595

各常任委員会で現地調査を実施



総務建設常任委員会現地調査

- ①市道 4-0087 号線用地取得補正予算（七栄）
- ②富里市道路線の認定（七栄 市道 1-0364 号線）
- ③市道 01-003 号線他舗装修繕工事補正予算（久能・七栄）
- ④市道 01-008 号線（第一小学校～酒々井 I C）工事進捗状況



文教厚生常任委員会現地調査

- ①富里南小学校耐震補強工事について
- ②七栄小学校障害児対策工事について
- ③保育園の現状について（富里保育園）
- ④学校給食センター施設統合事業について



学校給食センターの施設統合改築 工事契約のほか二一議案を可決

9月定例会は、8月29日から始まり、9月27日まで30日間の会期で開かれました。市長から、（仮称）富里市学校給食センター施設統合改築工事の契約及び、同センターの厨房設備等の取得について議決を求める議案など、議案一六件、同意一件、諮問一件、平成24年度各会計歳入歳出決算の認定一件が提出され、それぞれ原案どおり可決、認定等しました。また、委員会提出議案として二件が提出され原案どおり可決しました。一般質問は、九人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

議会の動き

8月29日

◎開会

○諮問第1号、同意第1号、議案第1号から第14号まで及び認定第1号 説明・監査報告

9月3日

○一般質問（個人3人）

○認定第1号 質疑・決算審査特別委員会設置・同委員会付託

○議案第15号及び第16号 説明

9月4日

○一般質問（個人3人）

9月5日

○一般質問（個人3人）

○諮問第1号及び同意第1号 質疑・討論・採決

○議案第1号から第16号まで 質疑・委員会付託

○請願の件

9月10日

◇総務建設常任委員会

9月11日

◇文教厚生常任委員会

9月13日、17～19日

◇決算審査特別委員会

9月26日

◇新保健センター等建設特別委員会

◇議会改革特別委員会

9月27日

○議案第1号から第16号まで 委員長報告・質疑・討論・採決

○認定第1号 委員長報告・質疑・討論・採決

○請願の件 委員長報告・質疑・討論・採決

○委員会提出議案第1号及び第2号 説明・質疑・討論・採決

○議員派遣の件

◎閉会

9 月定例会の議案と議決結果		付託委員会	結果	市民クラブ								公明党		とみの風		無会派				賛成	反対		
総務＝総務建設常任委員会　文教＝文教厚生常任委員会　決算＝決算審査特別委員会				岡野耕平	田口勝一	戸村喜一郎	原清一	高橋益枝	猪狩一郎	栗原恒治	佐藤繁夫	大川原きみ子	布川好夫	江原利勝	五十嵐博文	井上康	高橋祐子	窪田優	櫻井優好			鈴木英吉	柏崎のり子
全＝賛成全員　多＝賛成多数　否＝賛成少数　継＝閉会中の継続審査																							
○＝賛成　×＝反対　退＝退席　欠＝欠席																							
【継】＝前定例会以前からの継続案件																							
※鈴木英吉議員は議長のため採決に加わっていません。																							
議案番号	件名																						
市長提出議案																							
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
同意第 1 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 1 号	富里市税外収入金に係る延滞金の徴収に関する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第 2 号	富里市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第 3 号	富里市子ども・子育て会議条例の制定について	文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第 4 号	富里市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 5 号	富里市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 6 号	富里市営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第 7 号	富里市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 8 号	富里市道路線の認定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 9 号	平成 2 4 年度富里市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 10 号	平成 2 5 年度富里市一般会計補正予算（第 2 号）	総務 文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
議案第 11 号	平成 2 5 年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 12 号	平成 2 5 年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 13 号	平成 2 5 年度富里市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 14 号	平成 2 5 年度富里市公共用地取得事業特別会計補正予算（第 1 号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 15 号	契約の締結について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
議案第 16 号	財産の取得について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
認定第 1 号	平成 2 4 年度富里市各会計歳入歳出決算の認定について	決算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	16	1
委員会提出議案																							
委員会提出 議案第 1 号	国における平成 26 年度教育予算拡充に関する意見書	－	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
委員会提出 議案第 2 号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	－	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	－	○	13	4
請願																							
【継】 請願第 8 号	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願	総務	否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	○	1	16
請願第 9 号	「国における平成 26（2014）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	17	0
請願第 10 号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	文教	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	－	○	13	4

議 案 の 内 容

諮 問 1	法務大臣に対し新たに人権擁護委員の候補者として林田美恵子氏を推薦するに当たり、議会の意見を求めるもの	議 案 13	歳入歳出それぞれ 7,610 万 4 千円を追加し、総額を 22 億 504 万 4 千円とするもの
同 意 1	教育委員会委員に、新たに會田直子氏を任命するに当たり、議会の同意を求めるもの	議 案 14	歳入歳出それぞれ 6 千円を追加し、総額を 122 万 6 千円とするもの
議 案 1～7	国等の上位法令が制定・改正されたことにより、条例の制定・改正を行うもの	議 案 15	（仮称）富里市学校給食センター施設統合改築工事に係る事後審査型条件付き一般競争入札を行った結果、相手方などが決定したので、契約を締結しようとするもの
議 案 8	開発行為により道路整備された道路 1 路線を認定しようとするもの	議 案 16	（仮称）富里市学校給食センター厨房設備等購入に係る指名競争入札を行った結果、相手方などが決定したので、財産を取得しようとするもの
議 案 9	平成 24 年度富里市水道事業会計未処分利益剰余金を減債積立金に積み立てることについて、地方公営企業法第 32 条第 2 項の規定により、議会の議決を求めるもの	認 定 1	平成 24 年度一般会計及び国民健康保険特別会計など 5 特別会計並びに水道事業会計の歳入歳出決算について議会の認定を得ようとするもの
議 案 10	歳入歳出それぞれ 4 億 3,550 万円を追加し、総額を 144 億 6,539 万 6 千円とするもの	委員会提出 1	国が、必要な教育予算を確保することを強く要望する意見書を提出するもの
議 案 11	歳入歳出それぞれ 9,155 万円を追加し、総額を 60 億 2,555 万 8 千円とするもの	委員会提出 2	国が、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう強く求める意見書を提出するもの
議 案 12	歳入歳出それぞれ 1,325 万 3 千円を追加し、総額を 8 億 4,028 万 2 千円とするもの		

意見書を提出

◆国における平成 26 年度教育予算拡充に関する意見書
 （提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

◆義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
 （提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

平成 24 年度富里市各会計歳入歳出決算審査報告（抜粋）

委員長 布川好夫

決算審査特別委員会を設置

委員長 布川好夫
委員 井上 康、高橋祐子、岡野耕平、田口勝一、大川原きみ子、窪田 優、柏崎のり子、佐藤繁夫
副委員長 戸村喜一郎

平成 24 年度の一般会計及び国民健康保険特別会計などの特別会計の決算総額は、歳入が 240 億 8,382 万 27 円、歳出は 232 億 5,800 万 175 円となっており、実質収支は 7 億 9,027 万 1,025 円の黒字、本年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、1 億 2,123 万 9,402 円の赤字となっている。

次に、地方公共団体の財政状況の分析に用いる、普通会計における財務分析の数値で前年度と比較すると、財政力指数は 0.76 で 0.02 ポイント減少し、経常収支比率についても 92.5%と依然として財政構造の硬直化の傾向が見られる。

また、実質公債費比率は 4.4%で 0.8 ポイント減少しているものの地方債現在高は 134 億 7,027 万 1,000 円で、前年度と比較すると 10 億 5,350 万 5,000 円の増加となっている。

一般会計の歳入の根幹をなす市税の徴収率は 83.03%で、前年度と比較すると 0.52 ポイント上昇したが、市税収入済額は 1 億 1,236 万 8,252 円の減少となっている。

水道事業会計決算における、経営状況は、水道事業収益が前年度に比較して 2.85%増加し、水道事業費用が 1.62%減少したことから、前年度純利益に比較し 62.95%増の、1 億 740 万 9,455 円の当年度純利益となった。

このような状況を踏まえた上で、本決算審査特別委員会は、9 月 13 日及び 17 日から 19 日までの 4 日間にわたり、3 階第 3 会議室において、市長、副市長、教育長及び関係部課長等の出席を求め、慎重に審査いたしました。

審査の過程においては、活発な議論を経て、適正で効率的な予算の執行について当局の見解をただしました。

審査の結果、監査委員の意見書のとおり、各会計とも計数については誤りのないものと認められました。

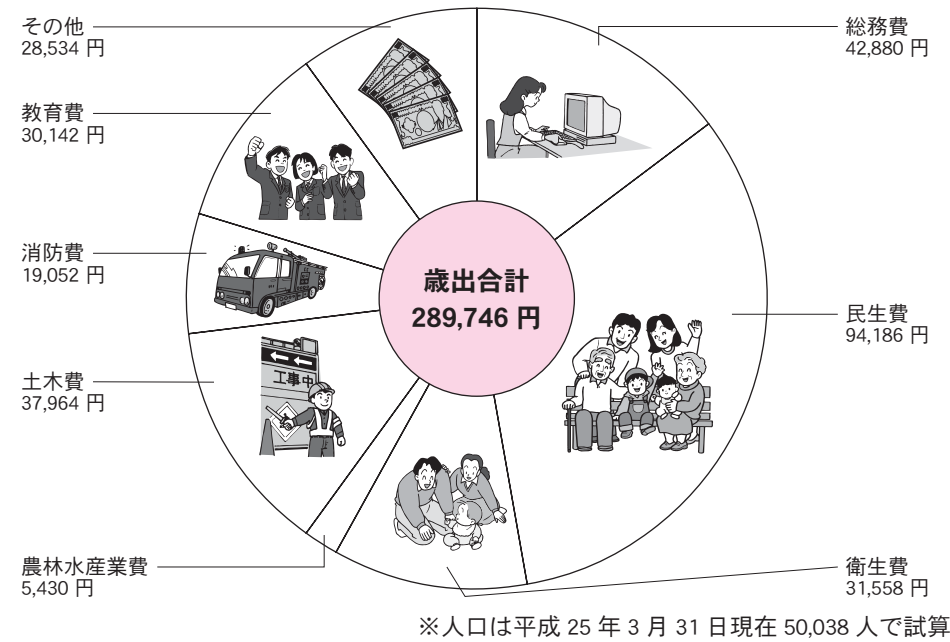
今後の予算の執行に際しては、「最少の経費で最大の効果を上げるよう」より一層の検討を加え、これまで以上に効果的・効率的な市政運営に努め、市民の期待にこたえるための予算執行となるよう、特に次の事項について適切な措置を期待し、報告いたします。

- 1 千葉県市町村総合事務組合の運営等、できる限り情報の提供に努めること。
- 2 税関係システムについて、業者に委託しているシステム変更を職員で対応することなどを検討すること。
- 3 市税の徴収率は向上しつつあるが、今後も徴収率のアップに努力すること。
- 4 高齢者の緊急通報システムについて、必要と思われる方に使用してもらえよう改革に努めること。
- 5 居宅介護住宅改修事業について、必要な方が必要な住宅改修を受けられるように、ケアマネージャー等から丁寧な説明をしていくこと。

- 6 献血事業の報償品について、献血回数に応じて品物を変える等協力者を増やす手法を検討すること。
- 7 浩養小学校・富里第一小学校に設置の学童クラブについて、利用者増に向けて努力すること。
- 8 特定保健指導の積極的支援・動機づけ支援について、更なる周知をすること。
- 9 男女共同参画事業について、推進体制の確保・推進本部の設置等体制を広く市民に周知すること。
- 10 防災用備蓄資機材について、目標年度を定め、計画的に整備すること。
- 11 上水道漏水調査について、有収率向上に向け計画的に漏水調査を行っていくこと。
- 12 市民サービスの低下防止や災害時の対応を迅速にするため、職員数の確保・予算を来年度に反映させること。
- 13 在宅福祉事業について、理学療法士を採用し体の動かし方等適切に指導できる体制を検討すること。
- 14 各学校における発達相談のために臨床心理士等を配置し、児童・生徒の学校生活が支援できるように検討すること。
- 15 上記の職のほか、全体的に専門職の不足がみられることから、人件費を削減するばかりでなく、専門職の採用・配置を計画的に行うこと。

以上のとおり要望を付し、認定第 1 号平成 24 年度富里市各会計歳入歳出決算の認定については、採決の結果、賛成多数にて、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

平成 24 年度一般会計歳出決算 市民一人当たりに使われたお金



平成 24 年度に実施した事業から



酒々井インター前路線を整備



消防団分団車両を更新整備



市制施行 10 周年記念式典を開催



浩養小学校隣接地に学童クラブを新設



富里第一小学校校舎内に学童クラブを新設



通学路安全対策として信号機設置に係る工事等を実施



市制施行 10 周年記念子ども議会を開催

常任委員会の審査から

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会は、付託された議案九件について、慎重に審査を行いました。主な議案について報告いたします。

議案第一号、富里市税外収入金に係る延滞金の徴収に関する条例の制定について、市民に対して督促などがより厳しくなるのかとの質疑があり、機械的に徴収するわけではなく減免規定も設けて、個々の状況を確認し対応との説明でした。

議案第八号、富里市道路線の認定について、接続する県道への出入り口の安全対策について質疑があり、出入り口の道路面は、速度を落とすような形になっており、隅切りも広めにとっている。看板等要望があれば対応との説明でした。

議案第九号、富里市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、昨年度より加入金の増額や、受水量の削減によって剰余金がふえたと

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、付託された議案八件について慎重に審査を行いました。主な議案について報告いたします。

議案第三号、富里市子ども・子育て会議条例の制定については、昨年8月の子ども・子育て支援法の成立を受け、地域ニーズを把握し、必要な子育て支援の量の見込みを的確に行っていくために、市の合議制機関として、子ども・子育て会議を置くために条例を制定するものです。委員からは、委員の選出方法について、女性が占める割合や、子育ての当事者である保護者と明記しない理由等の質疑があり、多くの意見を聞きたいと考えており、公募があった段階でどういった意見・経験を持っているか見きわめていきたいとの説明でした。

議案第一〇号、平成25年度富里市一般会計補正予算（第二号）の主なものは、子育て支援課

のこと。その理由について質疑があり、集合住宅、宅地分譲の加入状況から増額。受水量は井戸の能力も勘案した上で前年度より一日当たり三〇〇トン減らしたためとの説明でした。

議案第一〇号、平成25年度富里市一般会計補正予算について、市有地公売を目的とした不動産鑑定委託料の対象場所、件数はとの質疑があり、新木戸土地地区画整理事業地内保留地、七栄小学校付近二カ所、末廣別邸向かいは早期売却の予定はないが価格を押さえるためとの説明でした。防災行政無線のデジタル化更新工事について、更新も含め、どの程度デジタル化されるのかとの質疑があり、実施済みの市役所分を除く四八基の子局のうち、今年度一六基実施すれば、おおむね三分の一がデジタル化されるとの説明でした。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は可決しました。また、請願第八号は不採択と決定しました。

（委員長 佐藤 繁夫）

から、保育士の人材確保と処遇改善対策として私立保育園運営費等補助金、子ども・子育て会議委員報酬などの費用をそれぞれ増額するものです。

議案第一一号、平成25年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）については、委員から現在の基金残高と一般会計からの繰り入れについて質疑があり、医療費が昨年と比較して月平均二、〇〇〇万円ほどふえている状況であり、歳入が追いつかないとすれば、繰り入れも視野に入ってくるとの説明でした。

議案第一五号は、学校給食センター施設統合改築工事の、建設工事請負契約の締結について。議案第一六号は、学校給食センター厨房設備等取得するためのものです。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案は可決しました。また、請願第九号、請願第一〇号は採択しました。

（委員長 大川原きみ子）

議員研修

総務建設常任委員会視察

期日：平成25年10月7日から9日までの3日間

視察地及び視察事項

- (1) 神奈川県秦野市
・公共施設の再配置の取り組みについて
- (2) 愛知県豊田市
・農業振興施策について
- (3) 滋賀県長浜市
・商店街の活性化について



千葉県北総地区市議会正副議長会
議員研修会

期日：平成25年10月18日

講師：城本 勝 氏

演題：分権改革と地方議会の役割

一般質問

※本文は質問者の
自身による
原稿による
ものです。

通告項目

高橋益枝

- (1)（仮称）空き家等の適正管理に関する条例について
 - (2) いじめについて
 - (3) 公共施設（社会体育館、中央公園野球場、市営運動場等）の利用料について
- 布川好夫
- (1) 公共施設の利用について
 - (2) 福祉行政について
 - (3) 教育行政について
- 井上 康
- (1) 環境施策について
 - (2) 歳入確保のための施策について
 - (3) 市民と市の双方向コミュニケーションについて
- 岡野耕平
- (1) 入札について
 - (2) 道路について
 - (3) 富里市の総合計画について

大川原きみ子

- (1) 地域福祉計画及び、地域福祉の向上について
- (2) 下水道について
- (3) 都市計画について

高橋祐子

- (1) 学校給食について
- (2) 図書館について

窪田 優

- (1) 健康上、経済的などが理由で移動困難と思われる方の支援について
- (2) 地域公共交通は福祉的移動手段の役割が可能なか。
- (3) 全国一斉学力調査の結果と課題について

柏崎のり子

- (1) 生活保護制度について
- (2) 介護保険について
- (3) 福祉避難所設置について
- (4) 学童保育について

高橋益枝

問 平成24年度のいじめを解決した件数は



答 小学校六八件・中学校二五件です

問 平成24年度の調査結果は。

答 小学校で七三件・中学校で二五件のいじめを把握しました。

問 いじめによる長欠者の人数は。

答 平成24年度の不登校児童生徒数は、小学校一六名。中学校六四名いました。その原因としては、無気力や怠け、精神的な不安、友人関係でのトラブル、学業の不振、家庭に係る問題が複合して起こっているケースが多く、いじめが直接の原因による不登校の児童生徒はおりません。

問 ふれあい教室との連携は。

答 現在中学生三名が利用しています。

問 保護者の方への認知は。

答 担任が理解しておりますので、状況に応じて案内をしております。

問 ネットによるいじめについて。

答 平成23年度は中学校で一件、24年度は小学校で二件・中学校で一件ありました。

『公共施設の利用について』

問 中央公園野球場の小中高生の利用料金は他市町と比べて高いのでは。

答 高目であると認識しています。今後検討していきます。

問 社会体育館は大人も小中学生も料金は同じ

の

は。

答 今

後の

検討

と

します。



（資料：富里市消費生活センター、富里市教育委員会）
ケータイトラブルの防止へ

布川好夫

問 待機児童解消加速化プランについて



答 平成29年度末までに待機児童ゼロを目指します

『公共施設の利用について』

問 利用予約について。

答 施設によって受付開始日や使用料の納付時期が異なりますが、施設及び設備を使用する場合は、直接、施設の窓口へ使用許可申請書を提出し許可を受け、使用料を納付し利用していただいています。

問 ちば施設予約サービスについて。

答 平成23年度から運用が開始され、本市としては、当時システムの仕様が確定していなかったこと及び市内各施設の利用状況等を検討した結果、参加を見送った経緯があります。

問 インターネットで公共施設の予約が可能になり、最新の施設空き情報も確認できます。システム活用で、利用者団体の動向も掌握でき、今後の施設管理や運営にも役に立ちますので、ぜひ、ちば施設予約サービスか、市独自でシステムを、構築し運用する考えはありますか。

答 今後の検討課題とします。

『子ども安心カードについて』

問 現状と本市の取り組みについて。

答 救急搬送依頼時に、既往症、服用している薬品名、各種アレルギーの有無、かかりつけ医療機関等の情報を記入したカードを救急隊に提示し、迅速な対応が期待できる制度と認識します。昨年度の救急搬送の件数は、小学校六件、中学校六件ありました。今後、先進事例を研究するとともに、園、学校、消防署、学校医等の意見を踏まえて、子ども安心カードについて検討いたします。

井上 康

問 富里の豊かな自然を守る環境基本計画、進捗は



答 計画を確実に進め、評価を公表します

問 環境基本計画が策定されて一二年、進捗報告や計画の評価が市民に十分に公開されていません。評価結果などを公表し、市民と協働で進めていくべきです。市民と業者と市をつなぐネットワークを平成25年度内に構築し、年次報告や評価結果を公表していくと理解してよいですね。

答 そのとおりです。

『歳入確保のための施策について』

問 市の歳入アップにつながる新しいアイデアや提案を職員から引き出すために、副市長をリーダーとするプロジェクトチームを発足させてはどうか。

答 検討します。

『市民と双方向の「コミュニケーション」』

問 市からの情報提供を市民との双方向コミュニケーションにするために、フェイスブックのように気軽に若い層に浸透している仕組みを活用すべきでは。

答 課題が多く導入は無理と考えます。

問 市のホームページ。市民が傍聴できる審議会などがどこに掲載されているかわかりません。一覧表にしてトップページにわかりやすく掲載すべきです。

答 見やすく、わかりやすくなるようにしていきます。

『不在者投票。環境の整備が大事です。』

問 選挙の際に、病院や介護施設内で不在者投票を試みる場合に、認知症や高齢のため意思の疎通に課題がある方でも、間違いが起こりにくい環境の整備が必要です。選挙管理委員会の今後の方針は。

答 できる事から対応していきます。

岡野耕平

問 電子入札の年間経費はいくらか



答 毎年、年間約三〇〇万円です

問 電子調達システムのメリット、デメリットは。

答 ちば電子調達システム導入のメリットは、県と市町村の共同窓口の一元化により事業者の利便性の向上と各自自治体の審査事務の効率化や経費の削減が図れます。

問 どの程度の経費の削減効果か。

答 具体的には不明です。

問 従前の市内業者は、全て電子入札に移行しましたか。

答 従前は一一八社で、移行後は一〇七社です。

問 (仮称) 富里市学校給食センター施設統合改築工事の入札は。

答 一般競争入札の公告で予定価格一〇億四、八〇〇万円、調査基準価格約九億二、四〇〇万円(各々税別)で、二社からの応札があり、そのうち一社が調査基準価格を下回ったため、低入札価格調査を実施し、その後、低入札価格調査委員会を開催し、結果契約内容に適合した履行がされると判断し、落札候補者と決定しました。

問 九億円を超える工事の入札で、二社のみの入札で問題はないのか。

答 問題はないと考えています。

問 本体工事、電気工事、空調工事、給排水工事、外構工事、解体工事がなぜ、一本の入札なのか。

答 スムーズな工事を考えて行いました。

問 厨房設備等の入札は。

答 郵便入札による一般競争入札を行ったが、形式上の不備で無効となり、指名競争入札に変えて落札者が決定しました。

大川原きみ子

問 高齢者見守りネットワーク構築について



答 平成26年3月までは実施します

問 地域における高齢者の見守り支援について前回、「早急に検討する」とありましたが進捗状況は。

答 地域の中で発生する様々な福祉課題を早期に見発見することやお互いの防犯意識や地域住民の支え合いで安心安全の情報を提供するとともに民生委員児童委員や警察署など関係機関との連携強化に努めてまいりたいと考えております。

問 高齢者見守りネットワーク構築に向けた具体的な内容について伺います。

答 新聞配達店・郵便事業者等に対して協力を求め、また電気・ガス・電話のライフラインにも参加をお願いし、SOSネットワークのコンビニやスーパーなどの小売店などにも参加を促してまいります。

問 登録なのか、協定を結ぶのか伺います。

答 協力事業者等の活動内容に関する手引きを作成し協定による事業の実施を平成26年3月までにと考えてます。

『コンビニ店頭「広報とみさと」を』

問 高齢者も含め地域福祉の向上の観点から広報紙とみさとをコンビニ店頭に置くことについて伺います。

答 多くの市民のもとに届くよう民間保育園や福祉協議会など拠点配布を実施しています。今後の検討とします。



(資料：富里市) コンビニにも広報紙を

五十嵐博文

問 健康なまちとして食育推進計画の積極的推進を



答 担当課もやる方向で考えています

『下水道事業について』

問 完了年である平成27年度までの建設費約二四億五、〇〇〇万円に対し、平成25年以降六億円以上の建設費を要する。市財源から見通すと平成33年前後の完了となるが。

答 認可の延長を考えています。

問 よほど財源投資がない限り、自主管理中浄化槽の一部自治会が含まれる全体区域整備は、平成90年前後という現実からかけ離れるものと考えてるが。

答 御指摘のとおり、60年先と推計します。

問 今後の国・県の動向で企業会計への移行が想定されるが、どのような影響を及ぼすか。

答 整備率も低く現使用料では経営的に厳しいと判断します。

問 計画には無理があり、ある時期に方向転換が見通せる。その時に自主管理集中浄化槽に小規模下水道の検討が生まれる。下水道事業の展望で見えてくるのでは。

答 自主管理集中浄化槽の調査研究はきちんと行っています。

『食と健康について』

問 地産地消は、何をもって推進しているのか。行動計画を策定すべきでは。

答 調整を図り策定できればと思います。

問 地産地消は、市民から市民に広がりを持たせるのがポイント。富里産の食材の応援団となるべきサポーターを市民から募り、地産地消と食育への実践展開をすべきでは。

答 市民の口コミが一番のPRです。調整ができればと考えます。



高橋祐子

問 給食残菜率二四％に対する市長の見解は

答 大変高いとお思っております

問 全国平均四・八％の中、残菜率二〇％の数値目標も達成時期平成27年度も緩いと言わざるを得ません。

答 できるだけ早い時期に、残菜率も減らすよう努力してまいります。

問 学校給食の実態について、配食から喫食時間、嗜好、残菜などあらゆる観点から徹底的な調査が必要と考えるが。

答 残菜減少などに生かされる内容になるよう十分検討し、実施については給食センター運営委員会で協議の上決定します。

問 サンプル校調査も有効と考えるが。

答 議員の提案でもあるので検討します。

問 食育についての専門性が高い学校栄養教諭の配置を富里市は県に要望すべきと考えるが、市長のお考えは。

答 食育は教育。話を聞いていて、私も必要だと感じるので、教育委員会が必要だということになれば要望したいと思います。

『図書館について』

問 本市図書館は近隣で最も休館日が多い。公務員の都合ではなく、市民の利便性を考え、祝日の休館をやめるべきでは。

答 検討してまいります。

問 本市と人口・図書館規模が同じ武雄市図書館は、民間に運営を委託。スターバックスカフェとの相乗効果により利用者数、貸出数とも飛躍的に増大、全国的な注目を集めている。指定管理者への委託について、市長の見解は。

答 今は委託する気持ちはないが、市の図書館にはカフェができるスペースがあるので、十分検討したいと思います。



窪田 優

問 市が福祉的観点から交通弱者に果たすべき役割

答 市としても必要な措置を引き続き検討します

問 市の実施している「移送サービス」に該当しない交通事情困難者に対して社会福祉協議会（以下社協）ボランティアセンターが市民の有志に依頼し、主には自分の車で病院などの送迎、買い物足の確保を行っていました。社協として平成25年9月でこのサービスの仲介をやめることになりました。社協は「リスクは負えない」ということのようにです。代案もありません、責任回避に聞こえます。富里市の支援組織としては社協のボランティア送迎だけなのでしょうか。

答 それ以外は把握していません。

問 ボランティア送迎がなくなると困る人がいますがどのように考えますか。

答 ボランティア送迎事業は社協の事業。いたし方のないことと判断します。

問 登録者、利用者アンケートで停留所の増設、土日の運行、成田駅へのルート拡大などがあります、予算もあります。要望を満たすことは可能ですか。

答 市の財政を考えれば皆さんの要望に応えることは難しいです。

『地域公共交通』

問 富里市民は車の保有率が高い。必要なのは交通弱者のための足の確保、地域公共交通会議はなじまないのではないかと。

答 おっしゃるとおり、通学、通院、買い物、いろいろなニーズがあります。高齢者、障害者を中心とした福祉交通。市民全てが対象の地域公共交通。福祉部門の考えもあります、バランスを考えて、よりよいものにしていかなければならないと考えています。



柏崎のり子

問 子どもの生活の場にふさわしい学童の条例を

答 児童の健全育成をより推進する条例とします

問 本市に学童が設置され、二〇年になりました。このたび公的責任において、条例化されることは前進と考えます。指導員の資格条件基準及び処遇改善について。

答 国が示す基準等を参酌し子供たちが安心できるような資格条件づくりに努めます。処遇改善は指導員を安定的に確保できるよう財政支援を検討します。

問 開設日、時間等柔軟に対応を。

答 本年度実施する二一歳調査を踏まえ市内全体の学童の見直しを行います。

問 障害のある児童も平等に受け入れるために指導員の専門性が求められるが。

答 専門的知識を有する人の配置に対し人件費相当分を委託することで積極的な受け入れを行っているとあります。

問 経済的に厳しい家庭に対し保育料の減免規定が必要と考えるが。

答 今後策定する設置基準の中で家庭に配慮した市独自の減免制度を検討します。

問 七栄小学区への設置は今後将来に向けた検討が必要と考えるが。

答 七栄小及び富里小学区は民間事業者に協力いただいています。七栄小学区について充実が図れるよう検討します。

問 情報提供は行政用語をわかりやすく、子育て世代に合わせ、スマートフォンでの対応も考えては。

答 様々なサービスと保護者とを適切に結びつける情報として検討します。

『福祉避難所設置について』

問 小学校区に一カ所が望ましいとしていますが、具体的な進め方について。

答 災害時の協力協定締結に努めます。

請願（陳情）について

皆さんの希望や意見を、直接市政に反映させるための手段として、だれでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

○請願・陳情とは

紹介議員のあるものを請願、ないものを陳情と呼びます。請願は、期限までに受理したものは、原則議題とし、所管の委員会に付託します。

陳情は、提出者が市在住の方で、議会事務局へ持参により提出された

ものは、請願と同様の扱いとなりますが、市で処理できる権限がない陳情など扱いが変わるものもあります。

○提出方法について

請願（陳情）書は、書面でのみ受け付けます。それぞれ、議会事務局までご持参されるか、郵送により提出してください。

なお、12月定例会で審議される請願（陳情）書の提出期限は、**平成25年11月20日（水）午後5時**です。

議会を傍聴しませんか

12月定例会は**11月28日（木）**から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。
 ※本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎一階）のテレビや**インターネット**（ライブ・録画）でもご覧いただくことができます。
 ※本会議の録画映像は、当該本会議の会議録が作成されるまでの間（おおむね2カ月）、市議会ホームページに掲載しています。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど、皆様のご意見をお待ちしております。また、議会報は市議会ホームページでもご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄652-1 議会事務局
 TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス
<http://www.city.tomisato.lg.jp/category/2-3-0-0-0.html>

編集後記

猛暑が過ぎ、爽やかな季節の到来にほっとしている方も多いのではないのでしょうか。

9月8日に二〇二〇年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定しました。一九六四年の東京オリンピックを見るのができた一人として、感慨深いものがあります。

この開催決定で七年後の五輪を見据えた、社会基盤整備がこれから始まるうとしていますが、これには成田空港の拡大検討の可能性も含まれており『臨空都市富里』としても今後の動きに大いに期待を寄せております。

さて、9月議会では、決算審査特別委員会が設置され、四日間にわたって慎重な審査が行われました。この中で出された様々な意見・要望が、来年度の予算編成にどのように生かされていくのか、議会としても見極めていく必要があります。

本会議のインターネット中継が始まって、まもなく一年になるうとしています。まだごらんになっていない方も、ぜひ一度ごらんになり、御意見をお寄せください。

（委員 戸村 喜一郎記）